

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	通学路等における総合的な生活空間の安全確保の推進（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	鹿児島県													
計画の目標	通学路となっている区間において、道路の線形改良と歩道設置を一体的に整備を行い、見通しを良くすることで歩行者の安全を確保し、歩道を設置し歩行者と車両を分離することで、安心で快適な生活空間を確保を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		9,264	A	9,264	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

[illegible]

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・鹿児島県地域強靱化計画に基づき実施される要素事業：A-1から21まで・大隅定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A-5,9,14、・南さつま市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A-1,A-2,7,20,21・薩摩川内市定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される要素事業：A-6,18,19・鹿児島市連携中枢都市圏ビジョンに基づき実施される要素事業：A-8,15												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	（国）２２６号 笠沙道 路	バイパス L=5.4km	南さつま市	■	■	■			2,415		－
		令和２年度に「地域強靱化を図る安全で円滑な物流等を確保するみちづくり」へ移行																	
	A01-002	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	（国）２２６号 唐仁原 拡幅	現道拡幅 L=0.5km	南さつま市	■	■	■			257		－
		令和２年度に「地域強靱化を図る安全で円滑な物流等を確保するみちづくり」に移行																	
	A01-003	道路	離島	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）西之表南種子線 安城工区	現道拡幅 L=10.1km	西之表市	■	■	■			698		－
		令和２年度に「離島地域の強靱化を図る安全で円滑な物流等を確保するみちづくり」へ移行																	
	A01-004	道路	離島	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）野間島間港線 阿 高磯工区	現道拡幅 L=3.7km	中種子町	■	■	■			288		－
	A01-005	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）後田富山線 宮下 工区	現道拡幅 L=3.3km	肝付町	■	■	■	■	■	438		－
	A01-006	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）串木野樋脇線 市 比野工区	現道拡幅 L=0.2km	薩摩川内市	■	■	■	■	■	251		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-007	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	（国） 2 2 6 号 久志拡 幅	現道拡幅 L=2.3km	南さつま市	■	■	■	■	■	225		－
	A01-008	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）下手山田帖佐線 山田工区	現道拡幅 L=0.51km	始良市	■	■	■			306		－
	A01-009	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）志布志有明線 野 神工区	現道拡幅 L=1.9km	志布志市	■	■	■	■	■	804		－
	A01-010	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）布計山野線 山野 工区	現道拡幅 L=1.05km	伊佐市		■	■	■	■	222		－
	A01-011	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）打木谷白沢津線 白沢工区	現道拡幅 L=0.40km	枕崎市	■	■	■			165		－
	A01-012	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）今別府牧園線 今 別府工区	現道拡幅 L=0.70km	霧島市	■	■	■			251		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-013	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）幸田栗野線 幸田 工区	現道拡幅 L=0.45km	始良郡湧水町	■	■	■			208		－	
		令和２年度に「道路ネットワーク強化による地域間交流の促進」へ移行																		
	A01-014	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）日南志布志線 出 水工区	現道拡幅 L=0.88km	志布志市	■	■	■	■	■	268		－	
	A01-015	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）永吉入佐鹿児島線 広木・内田工区	現道拡幅 L=1.84km	鹿児島市	■	■	■			253		－	
		令和２年度に「道路ネットワーク強化による地域間交流の促進」へ移行																		
	A01-016	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）小山田谷山線 山 田工区	現道拡幅 L=1.80km	鹿児島市	■	■	■	■	■	986		－	
	A01-017	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）長島宮之浦港線 平尾工区	現道拡幅 L=1.10km	出水郡長島町	■	■	■	■		447		－	
	A01-018	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）東郷山田宮之城線 浦田工区	現道拡幅 L=0.5km	薩摩川内市					■	■	140		－
		令和２年度に「道路ネットワーク強化による地域間交流の促進」から移行																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-019	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（主）川内串木野線 高 江長崎工区	現道拡幅 L=3.2km	薩摩川内市				■	■	552	—	
		令和２年度に「避難体制を強化する道路整備による事前防災対策（防災・安全）」から移行																	
	A01-020	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	（国）２２６号 坊ノ津 工区	現道拡幅 L=0.1km	南さつま市				■		50	—	
	A01-021	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	都道府 県道	改築	（一）阿多川辺線 阿多 工区	バイパス L=1.2km	南さつま市					■	40	—	
											小計						9,264		
												合計						9,264	

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鹿児島県土木部にて事後評価を実施	整備計画期間終了後
	公表の方法
	県ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	道路整備により、歩行者の安全確保が図られ、生活空間の安全確保の推進に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
計画期間内に完了しなかった事業については、引き続き事業を推進し早期効果の発現を目指す。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	50%	
	最 終 実績値	50%	